

「あなたの姿は誇り」

原発に対応 消防隊員の母に大賞

野口英世の生誕地、福島県猪苗代町で4日、「母から子への手紙コンテスト」の入賞者の表彰式があり、東京電力福島第1原発事故に対応した東京消防庁のハイパーレスキュー隊員を子を持つ福島市の菊池孝子さんが大賞に輝いた。

子への手紙コンテスト

「20¹¹の放射能を浴び、決死の覚悟で任務に挑んできた一員として、自信にあふれたあなたの姿こそ、お母さんの誇り」としたためている。

コンテストは、米国で細菌などを研究中だった野口英世に母シカが帰国を待ち望んで書いた手紙にちなみ、町などによる実行委員会が開いており今年で10回目。

大賞の手紙全文

お母さん、行って来るからとの一報を受けた時は真っ白になった。あまりにも唐突で、気持ちの整理もままならぬ中、頑張ってきたと言おうしかなかった。本当は放射能の中への突入なんてあり得ない、やめてって叫びそうだった。東京消防庁への道を選んだ時、反対しとけばよかったときえ思った。これって、お母さんのエゴなのではないか。テレビにくぎ付けの一日の何と長いこと。無事であることを祈るばかり。そう言えれば謙はどら焼きが好きだった、忙しくてすっかり抱っこもしてやれなかった。追伸)浴びるほど飲ませた。お母さんの誇り。お疲れさまでした。

(2011年12月5日付 25面)

☆記事を読んで感想を話し合みましょう。

☆皆さんも家族に手紙を書いてみましょう。

年 組 名前